

ふるさと 資料紹介

＝⑥3＝

史料と地名からみた

地区の歴史⑱

加茂野 (一)

現在の加茂野町が、一つのまとまりとして動きだしたのは、明治二二年に「今泉村外五力村連合役場」という組織ができて以来です。

明治三十年に加茂郡の郡制が敷かれたとき、今泉・木野・加茂野・鷹之巣・稲辺・市橋の六力村が合併して加茂野村が誕生しました。

古代（九三一年）にまとめられた『和名抄』わみやまじょうという書物の中に「賀茂の郡」（加茂郡）の項があります。そこに

「美和」「井門いのへ」の郷が記されていますが、これはそれぞれ現在の今泉、稲辺を指すといわれています。

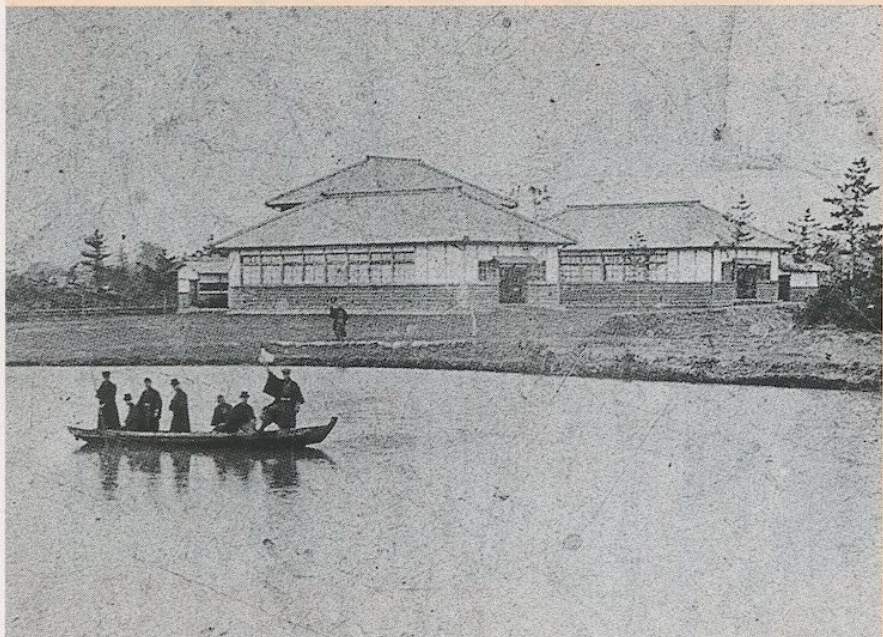
今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

（平成八年八月分）

○とうふ作り機、さおばかりなど

（小原美彦さん／蜂屋町）

計画中の博物館建設のため、現在いろいろな資料を収集しています。文化課（文化会館内／■内四〇八）まで情報をお寄せください。



▲今泉小学校（明治34年）